

対象年度	令和 2年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート				
事務事業名	景観まちづくり事業						予算事業名	まちづくり活動推進事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	景観法		
			08	03	01	1301	政策経費				
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分	主要事業			
	2-1計画的で魅力あるまちづくり(都市計画)							重点事業			
	③良好な景観形成						担当課係等	都市計画課			
	1地域特性に合わせた景観の形成							計画係			
事業期間	継続 (平成30年度～令和 9年度)										
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
景観計画・景観条例をもとに、市の地域資源(歴史的街並みなど)を活かしたまちづくりを目指す。							○茨城県状況(H27.4.1現在) ・景観行政団体:11市(景観法第7条) ・景観計画策定:8市				
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】				
○経緯(市全域) ・H27 景観行政団体に移行(4.1) ・H28 景観計画策定業務(パプコメ実施) まちなか整備支援(伝統的建築物群保存地区指定の検討) 都市計画道路再検討事業(8・3・3街路事業より移行) ・H29 結城市景観条例制定(パプコメ実施) まちなか整備支援(伝統的建築物群保存地区の指定に向けた支援、街づくりメニューの検討、資料・報告書作成) ・H30 市生涯学習課による保存対策調査実施(2ヶ年) 街並み環境整備事業によるまちづくりのための計画書及び効果分析調査実施。							結城市全体の景観				
							【事業をとりまく環境の変化】 北部市街地の活性化に向けて、歴史的な街並みの保存・活用として伝建地区指定に向けて取り組んでいくということで、地域住民の代表者等によるワークショップでも方向づけられた。				
【令和2年度 事業内容】				【令和3年度 事業内容】				【令和4年度 事業内容】			
・防災施設(消火栓の設置)				・景観重要建造物の測量・鑑定など ・修景施設等への助成				・道路美装化(測量・調査・設計等) ・景観重要建造物の買収 ・修景施設等への助成			

■事業費

		H30年度	R01年度			
財源内訳	国庫支出金	1,591	1,039			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	2,189	1,326			
歳入計(千円)		3,780	2,365			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	08 報償費	0	126			
	13 委託料	3,780	0			
	15 工事請負費	0	2,079			
	19 負担金補助及び交付金	0	160			
歳出計(千円)(A)		3,780	2,365			
伸び率(%)			-37.43			
備考	総合計画 72 ページ 予算書 141 ページ					

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	伝統的建造物群保存地区指定	式	目標	1.00	1.00	1.00
	伝統的建造物群保存地区指定に向けての検討等		実績	1.00	0.00	0.00
	街なみ環境整備事業の推進	式	目標	1.00	1.00	1.00
	事業計画の推進		実績	1.00	0.00	0.00
成果 指標	伝統的建造物群保存地区指定	式	目標	1.00	1.00	1.00
	伝統的建造物群保存地区指定に向けての検討等		実績	1.00	0.00	0.00
	街なみ環境整備事業の推進	式	目標	1.00	1.00	1.00
	事業計画の推進		実績	1.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	良好な景観まちづくりは、市の発展にもつながる事業であると考えられることから、今後の結城市にとっても重要である。
妥当性	実施主体の妥当性	B どちらとも言えない	景観誘導については、市が主体となり進めていくものであるが、住んでいる方が積極的に取り組まないともちづくりにはつながらない。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	計画や条例などを作成しても、市民の理解がないとその先になかなか進まないで、市が主導することから市民が主導する方向へ切り替える必要がある。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	コスト面だけを考えてしまうと、まちづくりはなかなか進まない。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	景観に関しては、市域全体を対象としているが、伝建やまち環境といった事業については、北部市街地の中でも一部の地域なので、どちらとも言えない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	制度や事業は、始まったばかりであり、成果はまだ見られない。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	伝建やまち環の事業については、財政面や地元の同意など課題が山積みであるため、順調かといわれると何とも言えない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
財政面や地元の同意など課題が山積みである。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
地元説明や関係各課との調整により、費用対効果の部分でもより良い方向を探り、事業を実現していきたい。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input checked="" type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 平成30・31年度の2箇年の予定で、生涯学習課において伝統的建造物保存調査を実施している。今後も継続的に関係課との調整を図りながら、地区指定に向けた支援や街づくりメニューの実施を図っていく。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） ・財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。 ・関係各課との調整により進める。